

スピード10キロダウン——歩行者も安全に

ねずみ年 花盛り

新春 座談会

梨をもちだり、まずこのものでもって食べました。まさに自然の中で育ったという感じがする。

足田 綿入れはなんてんを着て、そでで鼻水をこするもんだから、みんなデカデカに光って、今の季節だとガッパスケート、家の人が作ったそりやスキーです。夏は川に行ったり、ビー玉やお手玉で遊んだり、遊ぶ時はひっきり遊んだもんです。

藤岡 はせじよつこ（かけっこ）、すもうなど道具のない遊び。それといっぱいいた沢がにとりかかっています。田植えのあとの馬放しが子どもの仕事でした。

成田 石けり、パッチうち、桑の枝で刀をつくってチャンバラごっこ。電柱をベースにして野球のような遊びも盛んでした。男も女もいっしょになって遊び、ベースと呼んでいました。

青年会活動を はじめて

村形

伝えたい くり返されたい

安部

司会 それで戦前、戦中から、こんどは戦後の苦労話をお聞かせください。

高橋 戦争の続きみたいなことですが、戦病死した知人の遺族恩給を受けるために証人が必要で、ここにいた人たちははじめて、四方八方消息をたずね歩いたことも忘れられない苦労のひとつです。



高橋 仁一郎さん

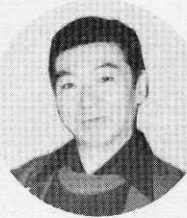
工藤 恩給の話になると、われわれの年代はちょっと違った感じで該当にならない。あんなに苦労したのに何のむくいもないというところは、本当に怒りを感じます。まず、あの時代をよくすごしてきたのだと思います。

三浦 営林署は人数によって米がくるので多くいることにして米をもらって、それでもたりなくて、ヤミ米で警察に調べられたり、あのころから皆さんに本当に助けられました。

町長 合併当時、落合村の人口がだいぶ多いことになっていて、それは営林署の人がいることになっていました。（笑）幼時から焼きた黒々とした山の姿と、沢水の味を復元したいという願いが頭を離れません。

三浦 町長さんのおかげで羽根山の天然杉が残されることになって、本当によかったと思っています。

成田 私七座営林署の帳場をして、食い物を続ける苦労をしました。後で神官と百姓になったのですが、朝めし前から仕事して、田のくろで食べるこんびめしの味は忘れられないものです。



成田 実さん

です。百姓仕事の苦労は本当にたいへんでした。

足田 田植えと言え、小さい百姓でも二十人もの人をたのむし、それがたいへんで人をたのまねてええなあと言ったものです。おともがらばりましたが、子どもたちも良くなればって手伝ってくれたものだと思います。

藤岡 食い物がなくて私はタバコがないのがとても苦しみました。教科書は折りたたみ式の新聞紙のようなものでした。配給品として服や靴が一人二人分くる。それを五十人もの生徒にどう公平に分配するか、本当に悩みました。

村形 終戦の年、川井に若い人の会をつくり、昭和二十一年に、何か大きなものに取り組みようという事で東北芸術大会を開いて、二十人もの人が集まりました。今の青年会の初めでした。苦しい体験も多かったが、われわれの年代ならではできた遊びもありました。

松橋 スポーツでは四団の大会といつて旧四カ村の対抗があったり、上小阿仁を入れて五団の大会や大館でやる郡大会があったり、熱が入ったものです。

桜田 高度経済成長と言われたあたりから、生活が変わって来ました。これから、もう一度当時までの苦労をしと言われどもとでもできません。

齊藤 「年いってから苦労するより若いうちに苦労せよ」とよく言うことですが、本当に三十代前半からの苦労の上に、どうにか今の生活があるわけで、一代で一番大きく変化する時代をすごしたのも、われわれの年代ま



斎藤 誠一さん

三木田に 大公園づくりを

三浦

魅力ある 町づくりに お手伝い

桜田

司会 それでは六十歳を迎えられるこれからの大きな夢を語っていただきたいと思ひます。

藤岡 三月いっばいで教職を去ることになっていました。田畑や林の仕事をして、若い気持ちで、社会に役立てばと考えています。

安部 一人ひとりが希望を持ち、生きがいを持っていてほしい。うことが何歳になっても必要だと思ひます。小さいことでも、目標を積み重ねて生きていきたいのです。

三浦 営林署を退職しましたので、公民館の活動に参加すること、もう一つ大きな夢があります。それは関の沢（南小学校裏）のつみみ公園にすることです。果樹園をつくり茶店をつくり全国的な公園にしたいと思ひますので協力を願ひします。

桜田 健康でおいしくさんといっしょに長生きしていきたいというのが第一です。それと商工婦人部のほうの役目は今年一年

です。いろいろな計画があるように、魅力ある町づくりにお手伝いできればと思ひます。

村形 これからことばきクラブの年になるわけで、まずその会費はきちんと納めたい。仕事では、合川町に他町に負けない商店街をつくっていききたい。借金を残しても実現したいと意欲を持っています。

息子に応援 ハウス栽培

工藤

歴史の上に 人生の集大成を

町長

足田 物がこんなにあるのに今の暮らしのほうに難しい気がします。孫たちがもつと根性を持って生きてほしいと念じています。まだまだ病気がたかくななと思ひます。



足田 ミエさん

齊藤 農協退職後、気の張りがなくなったせいのか体の調子をくずしました。今は悪いところもありませんが、七人になる孫のために、もうひととがんばりたいというところがあります。

工藤 息子が農村地域農業構造改善事業でハウス栽培に取り組みうとしています。年金をもらいながら応援して、大いにがんばらせたいと思ひます。

松橋 私のところは後取りが秋田にいますので、どうなるのかと思ひます。家の前に植えた庭木を孫の代になつたりつばなものでしてやりたいと思ひます。

成田 私の家もそうですが、子どもが家にいないというのはとても不安です。工場誘致などをすすめて、土地に根をおろし

で、みんなが生きて行く町になるように願っています。仲間と楽しくすごせればと思ひます。

高橋 孫も二人保育園に入ります。今まで少し無理して生きてきた感じがするので、足もとを見直して新たに発する。そんな気持ちです。

町長 いかに自分の積み重ねてきた歴史の上に人生を大成させるか、これがわれわれの年代の宿題だと思ひます。同じ年代の仲間が手を取り合って一人もかけることなく長生きしていきたいと思ひます。



町長 畠山 義郎

ねずみ年 忍耐強く辛せに

（司会）教育長

町長 ところで、十二支を決める競争の時、ねずみは猫をだまし、牛の背中ののつていて決勝点の手前でジャンプして牛の前に出て一等になった。この昔話を聞いたころは、ねずみ年がともいやでした。今は、ねずみ年がよかったと思ひます。

松橋 わが家は私と娘と孫がねずみ年生れです。



司会 教育長 木村 仁兵衛

司会 ねずみ年生まれは、健約を守り忍耐強く財産を得る。努力すると晩年には必ず辛せになるという相があります。実はこれは伊勢の暦についていたのですがどうですか。

一同 当たっている。よく当たっていると思ひます。白ねずみ、黄金（こがね）のねずみになるようにがんばりましょう。

おしらせ コーナー

町のこよみ

- 22日 合川町教育を語る会
- 22日 成人学級（林業）十年式典
- 2月 出かせぎ者現地懇話会
- 11日 青年婦人議会
- 3月 県民歩くスキーの集い（大野台ハイランド）

確定申告は お早めに

税務署の昭和五十八年分の所得税の確定申告受付は二月十六日から三月十五日までです。例年、期限がせまりますと混雑します。早めに申告ください。

国有地使用は 届出を！！

建物をたてたり、田畑にするために道路や水路として国有地になっているところが無断利用されている場合があります。利用しようとする場合や、利用していることがわかった場合は北秋田土木事務所（用地課管理係）に届けてください。現地を確認し、譲渡手続きなどについて相談に応じます。

最低賃金が 変わりました

秋田県内の産業別最低賃金が変わりました。一日当たり最低賃金は次のようになっています。

最低賃金（二千九百五十一円）

産業別：食料品製造三千二百七十九円、繊維三千四百四十五円、木材・家具製造三千四百五十五円、出版印刷三千二百九十円、機械金属製造自動車整備三千四百五十四円、卸売業三千四百三十七円、小売業三千二百二十二円、くわしくは秋田労働基準局

民生委員の 心配ごと相談

二月二十日（月）午後一時から三時まで。老人憩の家ことぶき荘で、各部落の民生委員の皆さんには、いつでも気軽に相談ください。

二十歳になつたら国民年金

二十歳になられた皆さん、人生設計に大きな夢をお持ちのことと思ひます。

設計図の一つに「年金」についての手続きもお忘れなく。

▽国民年金に加入しなければならぬ人は――農業・商業など自営業の人。従業員四人以下の会社に勤める人とその家族。無職の人。

▽希望すれば加入できる人は――サラリーマンの奥さん。仕間の大学生。年金は将来に備える「貯金」と。保険の意味がありますので、気軽に役場福祉課に相談ください。

原爆被害者二世の 無料健康診断

両親のどちらかが被爆者であるかたの健康診断が一月三十一日まで指定病院で行われます。希望者は鷹巣保健所に申し込みください。

ご参加を！！

出稼ぎ者懇話会

次のとおり季節労働者安全就業懇話会が開かれます。町出稼相談所（福祉課内）の名簿で案内を出していますが、家族のたがたからも連絡いただき、多数の参加をお願いします。

日時 二月五日（日）午前十一時

場所 ◎東京都台東区上野公園一三九 レストラン花山亭

（〇三三八二二二五）

◎愛知県岡崎市岡崎公園内選園（たつみかく）

（〇五六四一四一三九五一）

申し込み先 役場福祉課

